

[033] 語文研究表紙奥付等

<http://hdl.handle.net/2324/10237>

出版情報：語文研究. 33, 1972-05-31. 九州大学国語国文学会
バージョン：
権利関係：

◇学 会 彙 報

▼講義題目 昭和46年度第二学期

(大学院)	国語学特研	音韻史	奥村助教教授
(大学院)	全 演習	国語学の諸問題	奥村助教教授
(大学院)	全 特講	国語史	奥村助教教授
(学部)	全 演習	近世語	奥村助教教授
(大学院)	国文学特研	文学史研究の諸問題	今井 教授
(大学院)	全 演習	書誌学	今井 教授
(大学院)	全 演習	苔の衣	今井 教授
(大学院)	全 特講	平安女流文学の基盤	今井 教授
(学部)	全 演習	古今集 卷十一	今井 教授
(学部)	全 特講	漱石作品研究	九大教養部重松 教授
(学部)	全 演習	西鶴諸国咄	熊本大学 長谷川教授
(大学院)	全 臨講	近世日本文学与中国文学	関西大学 中村 教授
(学部)	全 臨講	語彙論	一橋大学 亀井 教授

▼昭和46年度卒業論文題目

学部	節用集に関する一考察	柏原 卓
	大江健三郎	古手川典子
	建礼門院右京大夫について	植田真理子
	「行人」について	栗山 博
	西鶴作品における笑話的手法について	下村 邦子
	大宰治「お伽草紙」	

「浦島さん」及び「カチカチ山」の作品の分析—首藤 洋一
 元良親王研究 杉山由美子
 続日本紀宣命に於ける敬語 薄 照子
 堀辰雄「菜穂子」について 武 真知子
 「中華若木詩抄」の性格 田籠 博
 志賀直哉の「范の犯罪」について 中原ユリ子
 白鳥戯曲 丹生 照美
 紫上論—和歌を中心にした考察— 根之本倫子
 参考伊勢物語所引の為家本 真常 信子
 佐多稲子私論 木村 京子
 修士

中古女流日記文学論 古賀 典子
 貝原益軒の紀行文 板坂 耀子
 助詞アクセントの史的研究 添田健治郎
 ▼新入会員歓迎会 昭和46年11月13日
 本年度進学生六名を迎え、魚干に於て歓迎会を催した。
 ▼卒業論文構想発表会 昭和46年11月28日
 於 文学部会議室

▼会員消息

春日和男先生は、スウェーデン国立大学総長の招聘による客員教授として、昭和四十六年十一月一日より四十七年三月三十一日まで、ストックホルム大学言語学部日本語学科大学院において「日本語形態論の諸問題」について約五十時間余の講義を行なわれ、又その間にウプサラ大学文学部東洋語学科・ユメオ大学言語学科において「日本語学概論」の集中

講義、それぞれ約十二時間を行なわれて四月初め御帰国になりました。

井手恒雄（昭和十三年卒）氏は、昭和四十七年一月から二月にかけて、福岡県海外研修職員として、タイ・ビルマ・印度・ネパール・セイロン・マレーシアの各国を廻られ、日本文学に関連のある仏教遺跡を視察されました。

今井源衛先生は、昭和四十六年四月二十一日「王朝文学の研究」で学位を得られました。

上村孝二（昭和八年卒）氏は、昭和四十七年四月二十八日「九州西南部方言及び琉球方言の研究」で学位を得られました。

▼異動消息

中野三敏先生は、昭和四十七年四月一日を以て前任の愛知淑徳短期大学から本学助教教授（国語学・国文学第二講座）として御来任になりました。

- (2) 国語と国文学 昭和二十五年七月 国語学 第三十七集
 (3) 国語学 第十三、十四集
 (4) 国語学 第六輯
 (5) 大妻女子大学紀要 第一集
 (6) 訓点語と訓点資料 第十輯
 (7) (平) は平声の声点が付されている事を示す。
 (8) (16・5) は複製本の16頁5行目に該当の用例がある事を示す。
 (9) この個所に「清」が入る事は前掲出項より明らかである。
 (10) 前掲注(4)論文四十五頁
 (11) 「古点本の国語学的研究 総論篇」
 (12) 第二十四回訓点語学会発表
 (13) 日本声調史論考 483頁、502頁
 (14) この補助符号「レ」は喉内韻尾に付するもので、この限りでは唯一の混乱例となる。
 (15) この例は或いは、上昇調の用例と見た方がよいかもかもしれない。
 (16) 本邦辞書史論叢 「法華経音義について」 884頁
 (17) 前掲注(4)論文
 (18) 人文科学科紀要(東京大学)第二十一輯十二頁
 (19) 前掲注(5)論文

- 受贈雑誌 46年10月、47年3月(1)
 日本文化研究所紀要(国学院大) 27/国際国文学3/国語と国文学48巻10、12・49巻1、3/国語研究22/白路(白路出版) 26巻9、12・27巻1、2/国語国文論集(安田女子大) 2/人文研究(大阪市立大) 22巻4、7/演劇研究(早大演劇博物館) 5/演劇博物館 収蔵品図書 目録(早大演劇博物館) /東海大学紀要15/古典と近代文学(有精堂) 11、12/大阪府立大学紀要19/高知国文2/国文学(学燈社) 16巻14、15・17巻1、5/金澤大学法文学論集18/皇学館論叢15巻21/学苑(昭和女子大) 382、387/肇国(肇国社) 342、345/国学院雑誌72巻10、12・73巻1、3/都立大学方言学会会報35、36、38、41、42、43/日本文化研究所報18巻4、6/文献ジャーナル(富士短大出版部) 115、120/国語国文(京都大) 40巻10、12・41巻1、2/玉藻(フェリス女学院大) 7/朝鮮学術通報13巻4、6/文藝と批評(文芸と批評同人) 3巻7、8/龍谷大学論集397、398/日本文学(東京女子大) 37/一橋論叢66巻4、5、6・67巻1、3/訓点語と訓点資料(訓点語学会) 45、46/鹿児島大学文科報告7/国文学研究論集(山梨大) 7、9/文学会志(山口大) 22/椋山女学院大学研究論集2/学園論集(北海学園大) 19/並木の里4/文芸研究(日本文芸研究会) 68/国語国文学(別府大) 13/女子大国文(京都女子大) 63、64/短大論叢(関東学院女子短大) 44/海史研究(日本海史学会) 17/豊臣物語(源琴) 3/文学史研究(大阪市立大) 12/国語学(国語学会) 87/日本文芸研究(関西学院大) 23巻3、4/国文学論集(上智大) 5/語文(日本大) 36/国文研究(愛媛大) 21/国語国文学(名古屋大) 29/研究報告(岐阜大) 20/国文学攷(広島大) 57、58

5 「兼輔集」は、西本願寺本系として「西本願寺本三十六人集精成」

(久曾神昇氏)・「群書類従」、歌仙歌集本系として「続国歌大観」

・「御所本三十六人集」(新典社影印)、桂宮本は「桂宮本叢書」を

用いる。特に・本と記さない場合は西本願寺本であり(時に西本と

略称)、番号は「精成」のそれである。

6 山口博氏は「敦忠室であつた仲平女が、敦忠没後に清正と結婚した

ものと考える」とされる(註3掲出書 五四六頁)。断定はできない

が、姻戚関係を考える余地はありそうである。

7 千古は延喜四年式部少丞(七位相当)であり、同六年閏十二月刑部

大輔(大丞の誤りであろう)であつて(日本紀寛亮和歌)、延喜五年

以前に加賀守になつたとは考えにくい。とすれば、「古今集」の場合

は藏人所を下る時のことではないかもしれない。

8 峯岸義秋氏「平安時代和歌文学の研究」参照。

9 「七月八日のあしたに 兼輔朝臣 (歌)」 「おなじ心を つら

ゆき あさ戸あけてながめやすらむ七夕はあかぬ別の空をこひつつ」

(二四八・二四九) この貫之の歌は「貫之集」では「七日の朝に躬

恒がもとより (歌) とある返し (歌) あくる年の七日躬恒が

もとに送れる 朝戸あけて……」とあつて、兼輔と同席してのこと

ではないと考えてよいだろう。

10 阿部氏前掲論文(注3)

11 峯岸氏前掲著(注8) 参照

12 「古今集の基盤と周辺」(桜楓社、昭和四六年)二〇四頁

13 「藏人所の文学的活動について」昭和四六年秋季中古文学会口頭発表

14 藤岡氏前掲著(注2) 四一―四二頁

15 「紀貫之」(人物叢書) 第二章第四節「自足した『小世界』」

受贈雑誌 46年10月―47年3月(2)

専修国文1011/東横国文学(東横学園女子短大) 4/国文(

お茶の水大) 36/人文学(同志社大) 121/金澤大学教育学部紀

要20/田唄研究(田唄研究会) 14/国語国文学(東京学芸大)

6/方言研究会報(広島大) 14/文経論叢(弘前大) 7巻1/

文化(東北大) 35巻12/神戸外大論叢21巻6・22巻1/3/

人文論究(関西学院大) 21巻1/4/金澤文庫研究紀要8/国

語国文論集(学習院女子短大) 1/清泉女子大学紀要19/有明

工業高等専門学校紀要8/文学論藻(東洋大) 46/研究会報(

同志社大) 23/大衆詩人(大衆詩人の会) 1/文学語学論集

(琉球大) 15/愛知県立大学文学部論集22/明治大学教養論集

69/萬葉(萬葉学会) 78/言語文化(一ツ橋大) 8/国語国文

(宮城教育大) 3/国語国文学会誌(学習院大学) 15/人文科

学(同志社大) 1巻3/国文白百合(白百合女子大) 3/薩摩

路(鹿児島大) 16/女子大文学(大阪女子大) 23/県大国文(

愛知県立大・愛知女子短期大) 6/国文学会報(京都教育大)

11/平安博物館研究紀要4/鶴見女子大学紀要9/同志社文学

7/成城国文学論集4/成蹊大学文学部紀要7/書院部紀要23

/中国古典研究(早稲田大) 17/人文研究(神奈川大) 49 50/

外国文学研究(同志社大) 2/国文学研究(梅光女学院大) 7

/国語国文学(岐阜大) 8/国文学(関西大) 46/能楽思潮58

59/文学科論集(広島大) 7/中央大学国文15/野州国文学(

国学院大栃木短大) 9/日本学術会議月報13巻2/甲南大学紀

要6/日本文学研究(高知日本文学研究会) 9/王朝文学史稿

(王朝文学研究会) 創刊号/樟蔭国文学(大阪樟蔭女子大) 9

/大阪樟蔭女子大学論集9/日本大学研究紀要14/文芸と思想

(福岡女子大) 35 36